

寺内地域包括

『地域包括支援センター』は、地域にお住まいの高齢者の皆様が安心して生活を続けていただけますよう、『何でも』ご相談をお受けしている総合相談窓口です。ご本人からでも、ご近所の方のことで、離れて暮らすご両親のこともかまいません。「こんなことを聞いても大丈夫かしら？」なんて遠慮もありません。担当の包括は市町村の窓口からも問い合わせ出来ます。個人の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。



直通 ☎ 018-853-6300

寿光園居宅

事業所には現在4名の介護支援専門員が地域で暮らしているご利用者の悩みや相談事に応じ、自立生活ができる様に支援させて頂いております。生活環境・介護環境は一人ひとり異なりますが、そのような皆様一人ひとりに適したサービスプランを提供するよう心がけています。私達は、地域の皆様の個々の生活に関わらせてもらう中で、人生の勉強をさせて頂いていると感じております。そのような経験を積み重ねてもらった介護支援専門員が対応させて頂きますので、一人で悩まず不安を抱かず、一緒に考えますので、お気軽にお電話ください。

直通 ☎ 018-893-5761

ヘルパーステーション

『住み慣れたご自宅での日々の暮らしのお手伝いをいたします。』

居室の清掃・調理・洗濯・買い物などの日常生活上の必要なサービスや、入浴介助・外出介助（通院）をおこなっております。

丁寧な介護支援サービスで安心感を持っていただけるように、また、ヘルパーの訪問を楽しみにしていただけるように、これからも信頼されるヘルパーステーションを目指して参ります。



TEL 018-880-1050

ショートステイ

ご利用者の心身の状況や、ご家族の精神的・身体的な介護負担の軽減を図る為、短期間施設利用し、日常生活上の支援や機能訓練等を職員が行っております。『急に身体を動かす事ができず、自宅で過ごす事が難しくなった』『在宅介護をしているが、時々休む時間がほしい』『冠婚葬祭等で一時的に自宅で介護をする事が難しい』等、ご利用者、ご家族のさまざまなご要望に応じ、ショートステイを利用される事で、在宅生活を継続出来るようサービスさせて頂きます。



TEL 018-880-1050

職員募集

詳しくは
018-880-1050
(滝田)までご連絡ください。

編集後記

新型コロナウイルスの流行により感染症予防のため面会制限を行っており、ご家族や地域の皆様にはご迷惑をおかけしておりますことお詫び申し上げます。幸い、現時点で園内での発症はありませんが、ご利用者の安全を考えて感染症対策のために万全な体制を整えて参りますので、ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

今年は例年よりも非常に雪が少なく、春を先取りしたかのような暖冬でした。桜の開花ももうすぐなのではないでしょうか。満開の桜にも負けないほどの笑顔でご利用者が過ごしていけるよう、私たち職員も笑顔で接していきたいと思っておりますので、来年度も宜しくお願い致します。（広報編集委員一同）

寿光園の屋根の下

第138号
令和2年3月
発行元
高清水寿光園



小さな成功

高清水寿光園
事務員主任 滝田健幸

全くの私事ですが、長男がこの春大学に進学することが決まりました。何よりも本人の頑張りあつての事だと思ひますし、目に見えない所でも頑張っていた（はず...）と想像すると、感慨深いものがあります。進学はゴールではなく通過点であると本人には言っておりますが、今は一言「おめでとう」と言っておきたいと思ひます。

そのような親馬鹿な話から始めさせて頂いた訳ですが、タイトルにもしております『小さな成功』。私の息子で例えるならば、高校生活において日々の生活を充実させて、今までできなかった物事を少しずつできるようになっていき（『小さな成功』）、それを積み重ねることによって自信に繋げ、大学進学に繋がったのだと感じております。

さて、この『小さな成功』ですが、何も学業のみの話ではありません。どんな場所や状況でもあり得る話だと思ひます。例えば、立位不安定だったご利用者へのトイレ誘導にて、声がけ・一部介助・見守りを繰り返すことで若干かもしれないませんが、立位保持時間が増加したケース。日々のライン業務を行っている職員に対して、その業務成果を承認することによって、業務効率が改善したケース。いずれも小さな出来事かもしれませんが、①自分が出来たと言う事実を認識させ②その事実に対して他者が認識してあげる。この2つが合わさる事によって成功体験が蓄積されていき、良い結果に繋がっていったのではないのでしょうか。

私たちは一人では生きていきません。故に共に手を差し伸べ合つて生きています。一人ひとりの『小さな成功』には必ず他者が何かしらの道標を示してくれています。常に他者への感謝の気持ちを忘れず、『小さな成功』を続けながら人生を豊かにしていきたい、そう思ひを馳せる今日この頃でした。

2東

2東フロアは 32 名のご利用者が生活されております。
 毎日の日課として、軽作業のタオル・エプロンたたみのお手伝いをして
 頂いております。
 敬老祝賀会でフロアから2名のご利用者がお祝いを受けております。
 また季節の行事(節分)で職員の仮装にご利用者が喜ばれておりました。
 今後もご利用者の笑顔を多く引き出し、寄り添う支援をして参ります。



1東

1東フロアは、32名のご利用者が生活を
 されています。
 毎日の日課として、軽作業のエプロンた
 たみを、昔話や昼食の献立の事等を話題にし
 ながら、おこなって頂いています。
 季節ごとのイベントでは、たくさんのご利用者に参加してい
 ただき、楽しいひとときを過ごして頂けるようにしています。
 これからも、ご利用者が、安心して過ごされるよう、たくさ
 んの笑顔で生活していただけるよう支援して参りたいと思いま
 す。



特 養

令和元年度 各フロアの取り組み

2北

2北フロアは 28 名のご利用者が生活しております。音楽のDVDを鑑賞し
 ながら一緒に歌ったり、高原列車の健康体操を毎日職員と一緒に رفتりと、
 活気のあるフロアです。
 これからもご利用者に寄り添い笑顔を多く引き出せる様に支援して参ります。



1北

1北は特養とショートステイ併設のフロアです。
 ご利用者の日課としてエプロンたたみがあります。時には
 タオルやおしぼりたたみもあり、協力しながら一枚一枚丁寧
 にたたんでおります。
 毎月の誕生会や季節の行事の夏祭り・年末お楽しみ会等
 を行うことで、たくさん笑顔が見られました。これからも
 たくさん笑顔が見られ、安心して過ごせるよう支援して行
 きたいと思えます。



介護の取組

今年度も、昨年度からの継続で介護力
 向上に取り組み、職員の介護技術の向上
 を図るとともにご利用者の皆様に満足し
 た生活を送っていただけるような取り組
 みを参りました。
 今年度は、「誤薬防止」と「骨折ゼロ」
 の2つを介護職の大きな目標として掲げ
 て取り組みました。
 1つ目の取り組みである「誤薬防止」
 では、確認不足によるうっかりミスが全
 くなかったとはいえないのが現状です。
 確実に誤薬を無くすためには配薬・服薬
 介助のダブルチェックやお名前を呼んで
 のご本人確認など、さらには服薬後の空
 袋を投薬箱に戻すなどチェックの機会を
 多く設けて取り組みました。幸いに大き
 な事故につながることはなかったものの、
 誤薬は深刻な事故に繋がり兼ねないとい
 うことを念頭におき、関わる際は気持ち
 を引き締めて引き続き来年度の課題とし
 てさらに安全な方法を確保していきます。
 2つ目の「骨折ゼロ」に向けての取り
 組みでは、骨折には至らないもののこれ

もまた課題を抱えたかたちとなりました。
 骨折に比べると軽微かもしれませんが、
 内出血などの見られるケースが少なから
 ずありました。大きな転倒や転落がなく
 ても骨折に至ってしまうケースもある為、
 細心の注意が必要です。骨粗鬆症等の疾
 患がある方をリストアップし把握に努め
 ることでそれが骨折予防の意識付けにな
 り、さらに申し送り等で情報共有してい
 くことで再確認につながったとの声が多
 く聞かれています。今後もご利用者の皆
 様の活動を制限することにならないよう
 留意し、安全な生活が継続して送られる
 よう、支援していきます。
 今年度を全体的に振り返ると、他職種
 も併せチームワークを大切にしながら取
 り組むことができました。職員の変わり
 ぬ高い意識と、質の向上に繋がる職員同
 士のコミュニケーションを大切にし、引
 き続きご利用者の皆様の安全で心穏やか
 な生活の場として満足いただけるよう、
 今後も頑張参ります。